

経済倶楽部便り

◆東京◆ 昨年末に会員アンケートを実施しました。いつものように、ここ2年間で良かった講演について3名選んでもらったほか、倶楽部運営に関するご意見・ご要望をお聞きしました。

その結果、票数でランキングしますと1位寺島実郎氏、2位柯隆氏、3位藤原帰一氏、三浦瑠麗氏、鹿島茂氏、4位河野龍太郎氏、保阪正康氏、唐鎌大輔氏でした。今後希望のテーマとしては政治、経済、国際問題以外では先端科学の動向や地球環境問題などサイエンスに関する希望が目立ちました。また、コロナ禍以降開始しているオンライン配信についてはコロナ禍後に

ついて、有料化を含めご意見を頂き、今後の検討課題にしたいと思えます。

3月の定例講演会講師は政策研究大学院大学教授の竹中治堅氏、コリアレポート編集長の辺真一氏、学習院大学教授の鈴木亘氏、一橋大学名誉教授の野口悠紀雄氏の予定です。

◆中部◆ 1月は現代中国研究家の津上俊哉氏をお呼びしました。中国の現代史はその思想傾向が「振り子のように左右に揺れる。自信を持つと左傾し、財政窮乏化など問題を抱えると右傾化して西側諸国に手を差し伸べる。今後の財政状況を注目したい」と話されました。

3月の講師はロシア問題が専門の小泉悠氏、国際マーケット研究家の豊島逸夫氏の予定です。

(日暮良一)